

古岡裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」

コンサート 9月公演 September



指揮 濱津 清仁 Hamatsu Kiyoto

2004年ウィーン楽友協会にて、オーストリア・ウィーン放送交響楽団を指揮し、鮮烈な楽団デビューを飾った。福島県郡山市出身。幼少よりピアノ・ヴァイオリンを東京音楽大学ピアノ科に入学し、後に指揮科に転科し、1997年同大学を卒業。その後渡欧し、ウィーン国立音楽大学に入学する。在学中より頭角を現し、主任教授レオポルド・ハーガーの許、管弦楽・オペラなど広範囲に亘るレパートリーを吸収し、ウィーン国立音楽大学主催公演で、ウィーン・プロ・アルテ管を指揮し（ウェーベルン：管弦楽のための5つの小品など）好評を得た。国内では、札幌交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団などで活躍。刈谷市総合文化センターレジデントアーティストとしてプロのオーケストラ・刈谷市総合文化センター管弦楽団の指揮者に就任。これまでに、レオポルド・ハーガー、エルヴィン・アッヴェル、湯浅勇治、小澤征爾、秋山和慶、汐澤安彦、広上淳一各氏に師事。



語り・俳優 相楽 孝仁 Sagara Koujin

福島県須賀川市出身。劇団「座標ランチ」所属。俳優・ナレーターとして舞台や映画・ドラマ・TVCMなどに出演。また映画「家路」での方言指導をきっかけに、宮崎駿オリジナル作品「最悪前線」の舞台やテレビドラマでの方言指導も担当。2020年NHK連続テレビ小説「エール」にて福島ことばの方言指導を担当、出演をする。

憧れた芸能の道への進み方など誰も教えてくれなかった須賀川の端っこから、経営学を学ぶ為に大学進学で上京。周りと同じようにスーツを着て就職活動をする事にやっぱり大きな違和感を感じ、遅ればせながら22歳にして憧れの世界への扉を開く。

「エール」をきっかけに福島でのラジオや講演会への出演機会が増え、高校司道部の経験が映画「忍びの国」出演に繋がった事、ながながと抜けた福島のことばが後に芸能の世界で役に立った事など、人生において無駄な事など何一つない事を説く。

古岡裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」団員

ピアノ		ヴァイオリン	
富山 律子	長瀬 賢弘	中村 千鶴	齋藤 恭太
高橋 茉莉奈	河野 美紀子	伊藤 美紀	戸村 実咲
菅野 千怜	菅野 里香	松田 佳奈	菊池 晶子
ヴィオラ		チェロ	
田口 厚子	加藤 大貴	高麗 正史	橋 原 彩
河原 田 潤	佐々木 秀男	斎藤 和志	本多 啓佑
齋藤 雄介	阿部 友紀	村 井 薫	
ファゴット		トランペット	
垣 内 紀子	佐久間 大作	阿部 一樹	富岡 愛彩美
ホルン		ティンパニ	
嵯峨 郁恵	佐藤 千明	上野 信一	小林 直央

古岡裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」芸術監督

三浦 尚之

福島市生まれ。東京藝術大学音楽部附属高校及び大学卒業。

1964年5月東京文化会館小ホールにて、日本史上で二人目のコントラバスソロリサイタル開催。同年7月渡辺隆雄指揮日本フィルハーモニー交響楽団と日本人で最初のコントラバス協奏曲を演奏（フジテレビネットワークより全国へ放送される）。

1966年フルブライト奨学生として渡米。ニューヨーク市ジュニアード音楽院博士課程にて学ぶ。1967年レオポルド・ストコフスキー指揮アメリカン交響楽団首席、1969年メトロポリタン・オペラ・オーケストラ首席、1971年～1977年ニューヨーク・シティ・オペラ・オーケストラ正団員。

1975年、ミュージック・フロム・ジャパン社を創設。日本の現代音楽をニューヨークを中心に世界各地へ積極的に紹介。1986年、福島女子短期大学教授就任。1996年、福島女子短期大学学長就任（2001年3月まで）。現職福島学院大学。文部科学省大学設置審議会音楽専門委員会（主査）、文部科学省中央教育審議会（中教審）芸術部専門委員、文化庁海外派遣研修員選考委員会（座長）を歴任。

現在、福島市音楽文化総合アドバイザー、ミュージック・フロム・ジャパン理事長兼芸術監督、音楽による福島まちづくり実行委員会委員長、一般財団法人坂ヶ丘病院理事を兼務。



新型コロナウイルス対策の実施



消毒の徹底



マスク着用の徹底



身体的距離の確保